

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報の収集と精査、掲載班 入力フォーム

No.51

調査者	板垣 篤典、齊藤 正和
情報ソースの刊行日	2020年5月13日
情報ソースの調査日	2020年5月18日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月22日
日本語タイトル	COVID-19 感染後のスポーツと運動再開のためのプランに関する見解
情報ソース	A Game Plan for the Resumption of Sport and Exercise After Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Infection
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活機的心リハ (介護・福祉系を含む)
発信地域	北米 (アメリカ)
DOI	10.1001/jamacardio.2020.2136
URL	https://jamanetwork.com/journals/jamacardiology/fullarticle/2766124?guestAccessKey=a0649047-857a-4b56-b6dd-4fbd1bfa3a9e&utm
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 後に競技スポーツを再開するための American College of Cardiology (ACC) Sports and Exercise Cardiology Section メンバーによるエキスパートコンセンサスである。 COVID-19 により入院加療を要した患者の 22% に心機能障害を認めているが、スポーツを再開するための科学的根拠に基づくガイドラインは不足している。 高強度の運動や競技スポーツへの復帰には慎重な感染症および心機能障害の評価が重要である。 COVID-19 感染後のスポーツ復帰に向けた時間軸を考慮した感染症および心機能の検査および基準を示している。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 運動再開の基準について、COVID-19 抗体の有無や症状、心筋トロポニン値、心エコー、心電図などによるアルゴリズムが示されている。 急性期では、運動によるウイルス複製の促進、炎症反応の増悪、細胞壊死の増加、不整脈の増加などが懸念される。そのため、適切な安静期間 (原則、最低症状の解消後 2 週間) の後に段階的に運動を再開する必要がある。